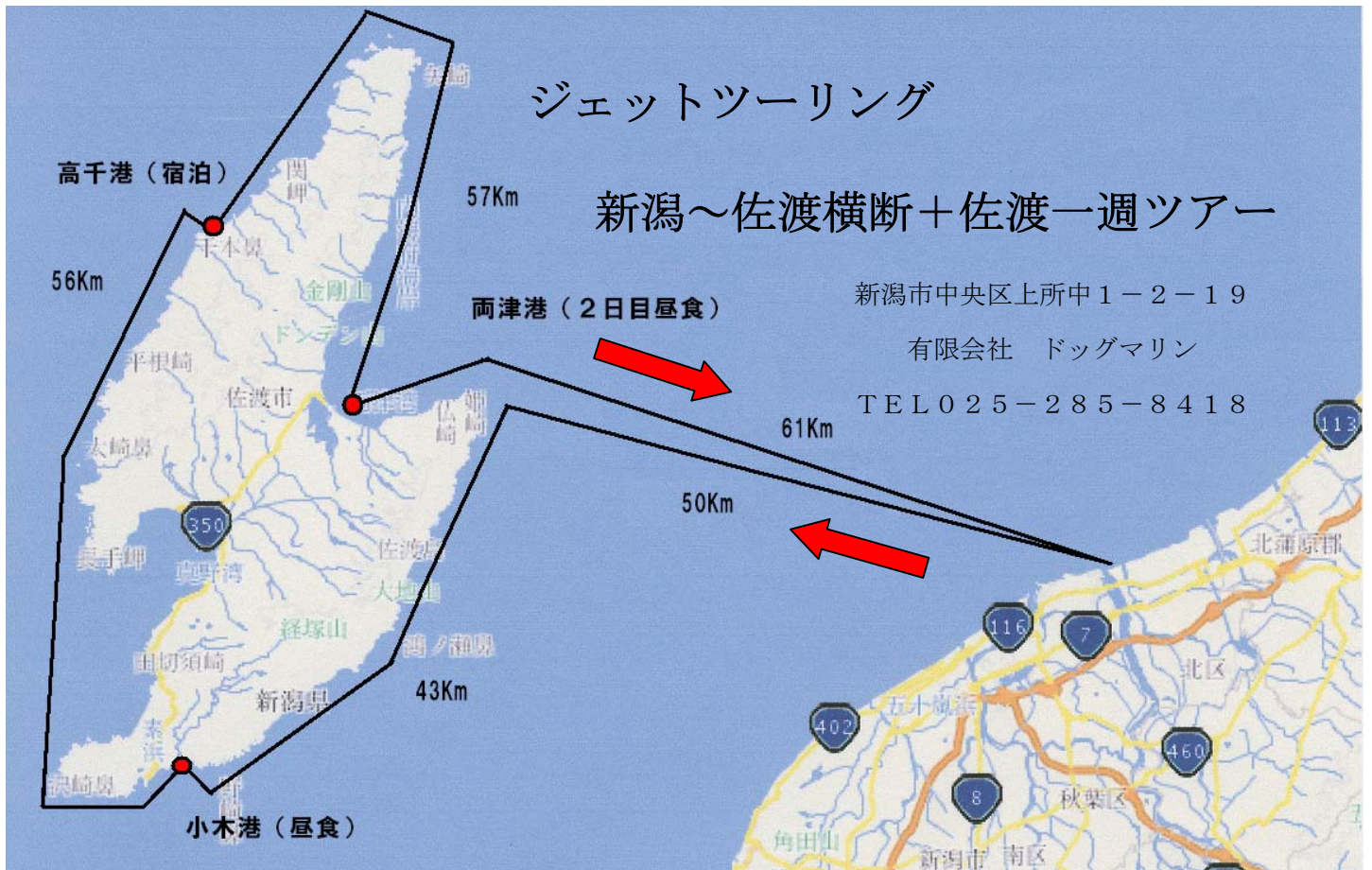


ジェットツーリング

新潟～佐渡横断+佐渡一週ツアー



主催者	有限会社 ドッグマリン	
日時	2008年8月3日(日)～4日(月)	予備日8月24日25日
全航程距離	約150マイル(約280Km)	
参加費用	70,000円 上記金額には宿泊費・食事4食代・(飲み物は別途)ジェットレンタル代・燃料費・臨時航行検査代・トランシーバーレンタル代・伴走艇レンタル代・伴走艇燃料費・各艇乗船時傷害保険料代(搭乗時死亡1000万円、入通院10000円)・消費税が含まれます。	
行動予定1日目	6:00	阿賀野川緑地公園集合
	7:00	公園出発
	7:15	阿賀野川河口にて、伴走艇と合流
	9:30	(50Km 走行)水津港沖到着
	11:00	(43Km 走行)小木港入港・給油・昼食
	13:00	小木港出港
	16:00	(56Km 走行)高千港入港・給油・宿泊
2日目	6:00	起床
	8:00	高千港出発
	11:00	(57Km 走行)両津港入港・給油・昼食
	13:00	両津港出港
	16:00	(61Km 走行)新潟港赤灯台到着・伴走艇と解散
	16:20	阿賀野川緑地公園到着・終了

臨時航行船舶	水上オートバイ SEADOO 4TEC3人乗り2艇 KAWASAKI 800SX-R 1人乗り2艇 合計4艇
伴走艇の詳細	43FT遊漁船 船名凌風丸 (最大搭載人員11人) ヤマハSTR27 船名ブルーローズ (最大搭載人員10人)
航行概要	佐渡までの横断は3人乗りであっても1人で乗船しなければならないので、各艇に1人が乗り30分ごとにライダー交代しながら佐渡まで横断します。佐渡が島の沿岸2海里(3.7Km)以内に到着したら、3人乗りは3人まで乗船して航行します。
参加条件	特殊小型船舶操縦士免許取得者
航行区域	単独行動は絶対にしない。伴走艇より100メートルの円内に留まるようにする。
無線設備	特定小電力トランシーバー「DJ-CH9・周波数422.2~422.3MHz・電波形式F3E・送信電力10mW」を通信設備とし、各艇に1台ずつ、防水パックに入れて携帯する。 なお、伴走艇凌風丸には27MHz漁業無線、400MHzパーソナル無線、レーダー、GPS携帯電話用アンテナあり。(090-3215-4311)
航行監視	伴走艇には船長の他に監視員を1名以上配置する。
航行巡航速度	約20ノット(37Km/h)
水上オートバイ燃料	伴走艇にはレギュラーガソリン 100リットル 2サイクルオイル 10リットルを海上給油用、非常時用として消防法適用の携行缶に入れ、積み込んでおく。
給油体制	往路は全艇満タンで出発し、1人乗りは出発より30分後に海上給油する。3人乗りは小木港・高千港・両津港で給油。

立案に際して

- 1 安全第一で、無理無茶はしない。
- 1 自然が相手であり、逆らわない。
- 1 みんなで力を合わせて、安全に楽しむ。
- 1 到着後、観光地である佐渡で、無謀な運転はしない。
- 1 今後も続けられるように、関係機関へ迷惑をかけない

行動艇の詳細

3人乗り

第220-23321号 船舶所有者 有限会社ドッグマリン

第220-23356号 船舶所有者 有限会社ドッグマリン

1人乗り

第220-22692号 船舶所有者 斉藤義徳

第296-23164号 船舶所有者 杉山祐一

行動艇の参加者詳細は別紙

伴走艇2艇で最大搭載人員21人

伴走艇、行動艇参加人数合計20人(予定)

緊急時の体制 荒天やその他やむをえない場合は、水上オートバイを捨てて、乗員のみを救助する。

荒天とは 気象庁天気予報において2日間に渡り、波高が1,5m.以上の場合は順延とする。

8月24日(日)も1,5m.以上の場合は、今年度の計画を中止する。

航行方法

編隊 前後の伴走艇の間で航行する。

伴走艇の監視員は、他船舶や漂流物などの見張りを行なう。

監視員はライダー交代要員としても待機する。

トラブル 何かトラブルがあった場合は、速やかに速力を落とす。

トランシーバーで連絡する。

それを発見したとなりのライダーは、スピードを上げ、伴走艇凌風丸よりも先へ行き、

トラブル発生をみんなに知らせる。全体がスピードを落とし、救助へ向かう。

給油 給油が必要な水上オートバイは、決められた時間に伴走艇凌風丸のトランサムデッキで船体を固定して行う。その際は凌風丸がスピードを徐々に落として、給油の合図をする。

給油の時は全艇ストップし、勝手な行動をとらない。

ガソリントankは消防法適合品を使用し、海へこぼさないように確実に補給する。

越佐海峡横断時編隊

